

「なごや東山の森づくりの会」 定例会報告  
うるおいの森(東山公園南部)

日時： 2010年3月7日(日) 10:00~12:00 天候：雨  
活動場所： 天白溪湿地とその周辺  
活動内容： 湿地周辺のササ・雑草刈り  
集合場所： ユーカリ畑横の駐車場  
参加者： 26名(会員 22名、子ども4名)

天気予報は的中、昨夜来の雨は降りやまず。定時には完全装備のいでたちで26名のメンバーが集まりました。

この日の明るいニュースは、新人吉田君(平和が丘小学校)の初参加。子ども東山の森づくり隊の友人から定例活動のことを聞いて是非にとお母さんの車で駆け付けたとのこと。森、畑、昆虫が大好きという森の仲間好みの少年。中西さんに紹介され初対面の挨拶も初々しい。

滝川代表から、くらしの森の工事も終盤、いよいよ炭焼き、田んぼ畑各班を立ち上げる時期となった、正式には別途案内を差し上げるが皆さんも積極的に参加していただきたいと挨拶、炭焼き班世話人の松田さんからは炭焼窯製作計画の進捗状況の紹介がありました。

冷たい雨がずっと降り続きたっぷりと水をたたえた天白溪湿地には、春の訪れを告げる、アカガエル、ヒキガエルの大きくて立派な卵、そして仲間より一足早くベールを脱ぎ棄てたオタマジャクシの姿、陸ではヒイラギナンテンやヒサカキの淡黄色の花、水辺には春の七草セリの葉の姿も見られます。

正午近くになっても雨脚に変化はなく、食事する適当な場所も見当たらないので本日の作業は午前中で切り上げることとなりました。



(左)  
冷たい雨もなんのその、“春雨じゃ~”と集まった26名



(右)  
初々しい初参加の少年の挨拶に女性会員から思わず拍手

ヒキガエルの卵、今にも“爆発だ！”



先輩であ~る。一足お先に！



作業は後でいいからまずカエルの卵を採ってみようネ(先生の御指導です)



葉はヒイラギに、実(み)はナンテンに似る、人呼んでヒイラギナンテン



ヒサカキは姫榊と書きます。非榊ではありませんぞ。実(み)は染料に。



ふと足元を見ればヤマツツジの花が一輪、春はすぐそこです。

